

🌲 樹齢 300 年のホルトの木を見に行こう！

日 時:2018年8月4日(土) 天候:晴れ時々曇り 25000歩 約16km

集 合:JR平塚駅西口 9時30分

コース:平塚駅→高来神社→ホルトの木(堀文子画伯の家の前)→湘南平→大磯運動公園→大磯駅(解散)

参加者:河野(L) 勅使河原(SL) 市村(SL) 佐藤よ 小作 常盤 神谷 平石 熊坂 奴田 高橋文 小野里 青松秀
清水正 長井 野村 宮野 伊藤美 小島 高橋紀 中村ゆ 丹後 志村 木村 奥村 山田 高山 岩元 計28名

“命に係わる”猛暑の中、無謀にも28名の“命知らず”が平塚に参集！普段は馴染みのない西口を予定通りスタート、高来神社に向かいます。すでに気温は30度を超えているようで、今日の最高気温が何度になるのか気掛かり。一国の花水橋を渡ると、海が近いのか心地よい風が吹き抜け一時暑さも忘れませんが、高来神社に着くとまた熱気に襲われます。ここから向かう「湘南平」は海拔180m程で高麗山と泡垂山の山頂一帯を指し、都市計画公園としての名称は高麗山公園。またここはデートスポットとしても知られていて、特にここから見る夜景は素晴らしいそうです！ランチタイムは、相模湾からの風を受けながらベンチが並ぶ日陰で。食後はデザートのアイスやカキ氷で暑さを凌ぎました。午後の部は万田方面への“サービス迂回”？で大磯運動公園へ。ここでも自販機のアイスを目指す人が続出！まさに大きな子供状態(そういう自分も！)。今日は全員が平均2L以上の水分をとったようです。最後は城山公園でクールダウン、まだ強い日差しが残るなか大磯駅へ向かいました。結果、皆さん暑さにめっぽう強いのか、それとも単に“感覚が鈍っている”のか・・・まあここは、皆さんお歳を感じさせず元気だったと言うことでお開きに・・・万歳！？

<フォトレポート 小島>



湘南平のテレビ塔をバックに。食後のせいか皆さん気合十分！このあと午後の部スタートです。



馴染みのない平塚駅西口。迷った人も数人いました。



これから向かう高麗山方面。如何にも暑そうです。



駅からほど近い公園で佐藤伊さんのストレッチ。これをしっかりやらないと後で後悔します。



本日のリーダーは地元の河野さん。ほんやりしていると“厳しい指導”が待っていますよ！



日陰を選んで徐々に身体を慣らします・・・



金目川下流の花水川を花水橋で渡る。(ややこしい!)



ここで東海道を渡ります。



由緒ありげな街道沿いの藁葺家。



高麗山の麓の高来神社に立寄る。

＜高来神社の由来＞中世の戦乱等により書物が焼失したため起源は明らかでないが、神武天皇の時代の創建とする記録があるという。かつては高麗山の山頂に上宮があって高麗権現社といい、右の峰に白山権現を、左の峰に毘沙門天を勧請して「高麗三社権現」と称した。高句麗が新羅・唐連合軍に滅ばされた時に、その王族・若光を中心に高麗人が相模国大磯に渡来し、その後若光一族を含めた各地の高麗人は武蔵国高麗郡(こまぐん)に集められ、高麗神社も設立したという。高来神社の例大祭「御船祭」の木遣歌「権現丸」に、「高麗国守護」が渡来して、「大磯浦の守護」となったとある。また古来武門の信仰が篤く、鎌倉期に将軍源頼朝が正室北条政子の安産祈願をして、戦国時代には後北条氏がわずかな領地を寄進したという文献があるという。(Web サイトより抜粋)



境内の木陰を選んでの給水タイム。もうすでに汗が・・・



一休みしたところで高来神社を後にします。



向かうのはホルトの木。ホルトとは何ぞや？

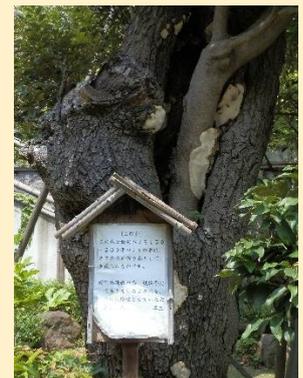


これが樹齢300年の「ホルトの木」ですが・・・花も実も見当たらず特徴がよく分かりません。

●ホルトノキ●

わが国の本州、関東地方以西から四国、九州それに台湾や中国、インドシナ半島に分布しています。葉は倒披針形で「ヤマモモ」に似ていますが、古くなると赤く色づいて落葉するのが特徴です。7月から8月ごろ、総状花序をだし白い花を咲かせます。核果は楕円形で「オリーブ」に似ています。名前は「ポルトガルの木」が転訛したとか、「オリーブの木」と誤ったものとかいわれています。

※大磯のホルトの木とは、民家の庭に生えている樹齢300年超の大木で、10数年ほど前に売りに出された時に、その土地の向かい側に住む日本画家の堀文子氏が、町にかけあたりして保存運動をしたのですが、結局自分でその土地を買って保存したというもの。



住宅街の中に「高麗庭苑」がありました。珍しい宿木や古井戸・竹林等もありここで暫し休憩を取ります。



「虎御前」がこの井戸水で化粧をしたそうな・・・ここには「化粧坂の一里塚」があり旅人の休憩場所だった。

[虎御前](とらごぜん)

鎌倉時代初期の遊女。曾我祐成の妾。お虎さん、虎女(とらじょ)とも呼ばれる。富士の巻狩りの際に起こった曾我兄弟の仇討ちを描いた『曾我物語』で、この物語を色づけ深みを持たせる役割をしている。『吾妻鏡』にも出てくることから実在した女性とされる。江戸期に制作された多数の曾我物にも登場し、虎御前の名は広く知られることとなった。



釜口古墳に寄ります。住宅街の斜面に横穴式の石室が保存されています。

昭和27年当時の現場写真。

[釜口古墳]

古墳時代後期(7世紀末～8世紀初め)。切石積みのみごと。県指定史跡。古墳時代終末期になると、自然石や割石でなく、美しく整形した切石を積んだ横穴式石室が出現する。神奈川では川崎の馬絹古墳が有名だが、西相模ではこのみ。薄い封土と切石を持つ点では、夢見ヶ崎動物公園に現存する加瀬3号墳(川崎市)と似ている。



ここから高麗山公園へ上りが続きます。

急坂ではないだけに徐々に疲れが溜まってくる・・・



結構な山道を下り終えてほっと一息。



湘南平まであとどのくらい？「もうすぐよ」ほんど？



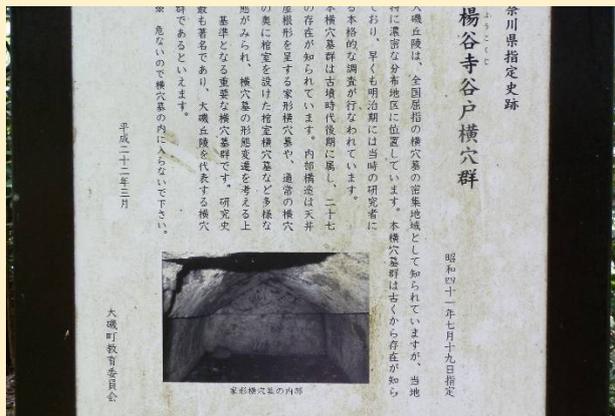
一息ついたらまた急坂が・・・



高麗山公園の入口に到着。



後続が遅れているので小休止。

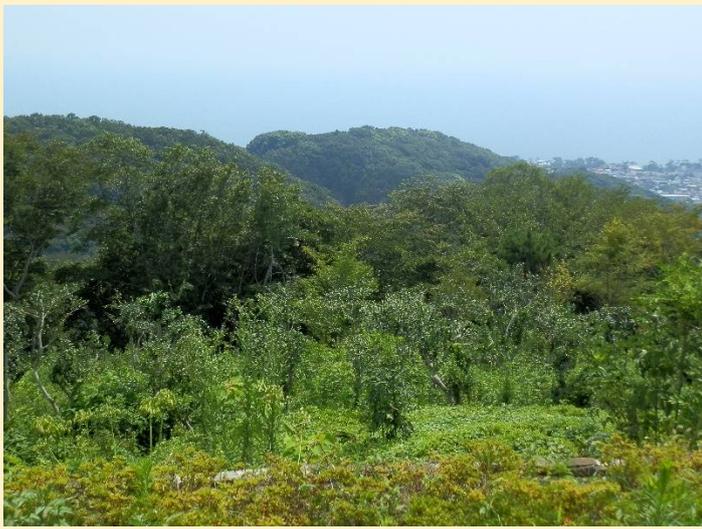


楊谷寺谷戸横穴群。大磯丘陵には多くの横穴墓があるが、ここには27の墓が確認されている。



息も絶え絶えにやっと湘南平に到着。レストハウスと平塚テレビ塔がお出迎え！夏休みなのに殆ど人が居ない？この日は土曜日、おそらく陽が落ちて涼しくなった夜にはここがカップルで埋まるかも？（シニアは早めに行くこと）





前方には先ほど歩いた山が。海と空の境も霞みがち。



藤棚の下が空いていたのでここでランチタイム。



各自お好きな所で・・・海側からの風が気持ちの良い場所です。午前中の疲れがとれるかも？



食べたらずとなく眠くなりそうなの・・・



顔が赤いようですがそのボトル・・・まさか？



何やら“只ならぬ気配”が・・・



何と湘南平でトロロそば？



美味しいわよ～(恐れ入りました！)



この展望台からは相模湾と伊豆半島・伊豆大島も。



カキ氷を楽しみにここまで来た甲斐がありましたね！



私もお相伴にあずかりレモンを・・・(量多すぎ！)



あと1/3のところまでリーダーに食べられた！（泣）

※注:カキ氷専門店とは別として、夜店や観光地でのものは色だけ違い味は殆ど同じだそうです。(都市伝説?)



食後で身体が重いのか足取りが・・・



蜘蛛の巣と格闘し万田方面を目指す。



見事な竹林を背にここで小休止。



日陰のない緑の水田地帯を行く。彼方は海。



日影を辿ってのウォークです。



曾我兄弟五郎の力石。(よくある話)



横には土地改良工事の記念碑も。



少々迷いながらも大磯運動公園に到着です。



早速アイスをお買い上げの女性陣。太多了よ～！



事務所前のベンチで小休止。水分補給し冷却中？



さあそろそろ出発しますよ～ あと残りは僅かです。



気合も十分足取りも軽く・・・(と思ったら出口は逆)



結構広い公園です。あの山から下りて来ました。



運動公園正面入り口にはコスモスに囲まれた池も。



前方は東海道線。以前向こう側から来た覚えが・・・



左は大磯城山公園。この中を抜けて行きます。



大磯町郷土資料館前ふれあいの広場でクールダウン。



左前方には午前中歩いた高麗山方面が見えます。



ゴールの大磯駅に到着。皆さんお疲れ様でした！

<今日の一言>

とにかく大汗をかいた一日でした。「やや健」とのことでしたが、内容はほぼ「健脚」だったように思えます。この猛暑の中なので一層そう感じられたのですが、コースは結構なアップダウンがあり、結局3人が途中でリタイヤとなりました。自分の体力と相談し自己責任での参加ではありますが、これだけの人数を旨く纏め無事完歩出来たのは、地元を知る河野Lの頑張りのお蔭だったことは言うまでもありません・・・拍手！